

情報提供と意思決定支援

Q タイトルの「情報提供」と「意思決定支援」2つの関係についてどう思うか？

→病院に来る前に、多くの患者がネットなどで多くの情報をもってくる。治療方針を決める上で、情報の多さから混乱して意思決定できない患者を見てきた。情報提供の必要性をまず考えた。

(それは誰が提供？)

→医療者。

(適切な情報提供がされていない？)

→実際のがん難民を発生させている理由などをみたり、実際の事例をみると、少なくともそういう現実はあるだろう、

(それは医療者の情報不足？それとも？)

→個人的には、情報を持っているがうまく伝わらないのでそういう問題が起きてくるのだと思う。たとえばプレゼンの事例のように、十分な情報提供がされていないケースもあるし、移植を受けることで強い副作用を

→うまくいかない場合の説明もうまくされないし、患者がイメージもつかないし、そういう悪い部分は耳に入らないこともある。

そういう悪い状況に陥って予想外だと感じてしまう患者がいるから、そういうことがないような情報提供の仕方が必要だと感じている。

このプレゼンの例でいうと…本当の情報提供といえば、全ての選択肢が説明され、全てのメリット・デメリットも説明される必要がある。しかし、実際は、その両方がなされることは難しい。一方でそれを聞かされない権利もある。提供したつもりでも理解ができていなかった、ということもある。その場合はコミュニケーションの問題。

情報は多くの人には、荷物みたいにパッケージされていて、それを渡すものだと思っている。しかし基礎情報学の西垣先生は、そのように出すだけでなく、受け取ることも必要で、その2つが繋がって考えられるべきものであると言っている。だから、理解されるべき情報があるかというのと、やっぱりそれもないのかもしれない。一方通行的な情報提供は、真の情報提供ではないということ。

コミュニケーションが不足しているからこそ、がん難民ができるのだろう。単発的にとってつけたように話をするから、そういう繋がっていない情報提供になってしまうのではないか。

インターネットも一方通行な情報提供だ。

治療法についての情報を患者がみてどうしようかと主治医と話す、患者の生活を確認しながら、コミュニケーションのなかから本人が自己決定できるのが理想だろうが、それが

難しいのが現状。そこが看護とかそういう専門職が関われることなのかなと思う。そういうコミュニケーションの取り方を、ネットを使ってどう行っているのかなと思った。

OK web…これは一応対面式だが、でも命が関わっているときには、相当な信頼性がありそうなものでない限り信じないだろう。しかし、これは、「確かめたい」という気持ちに応えるものでもある。背中を押してくれるもの。自分の親の時にも、主治医と話して理解はできたけれど「じゃあ、みんなは本当にそれをやっているの？」と気になった。そういう時にこういうサイトで生の声で確認し、安心することができる。頻度の低い疾患だったら、よりネットは良い手段ではないか。

今、在宅で認知症患者の介護をしている人の集まりに参加している。しかし、自己嫌悪だとかいう悩みを抱えている人は、まだまだ潜在的にいると思う。そういう潜在的な人に対して、ネットはグループの生の声を聞く場としても有効だと思っている。

情報提供と意思決定支援、と2つには、本来は分けられない。意思決定行動は、情報がそろった後になされるものだ。だから、決めるということは、情報提供とは別の作業で終わった後にするもの。したがって「決める力」が必要。決めるには責任を負う。決めたら責任を負わねばならないので、医療者は決めたくないことも多い。しかし、患者も決めたくない。だから、がん難民ができるということもある。そこに第三者が入るといふ動きが出てきている。決められなかったり、決めるにあたってのプロセスがうまくいかなかったりする場合に、そこを支援する。情報を提供しただけで、「じゃあ後は自分で決めてください」ということは非常に冷酷なもの。意思決定の作業をともに行うコーディネーターなどというものが近年、注目されつつある。

Q そういう役割は病院にあるもの？

→聖路加の遺伝相談は、意思決定をサポートしている。

→そういう窓口には診療報酬がつかない。

→医師はやはり、治療法とそのリスクを客観的に説明することが重要な役目。

→各病院に意思決定支援をサポートするスタッフが必要。そこにはナースが適職。その実践を重ねていかないと診療報酬もつかない。 cf.医療コーディネーター協会：現場から上がってきたノウハウであってエビデンスはないので評価研究をやると良い。

今、国がやっていることは、情報提供のコンテンツをつくることと、拠点病院などで電話相談をしている。それも評価されなければいけないだろう。

看護の意思決定の学会を作って、資格を作らなければならないとの話もある。